


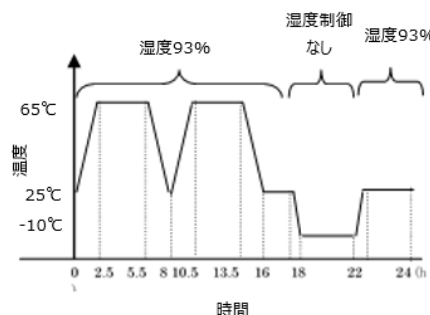


動作条件	保存温度範囲 (開封前)	-10 ~ +60[°C] (40~75[%RH])	保存温度範囲 (実装後非動作時)	-40~+85[°C] (85[%RH]MAX) 氷結、結露なきこと		
	使用温度範囲 (動作時)	-10~+85[°C] (85[%RH]MAX) 氷結、結露なきこと	特性インピーダンス	差動100[Ω]		
	電気入力IF	SLVS-200	Activate電圧	1.0~3.6[V]		
	入力信号電圧	差動200~1400[mVp](typ 200[mV]) コモン電圧150~340[mV](typ 200[mV])				
	電源電圧	3.0~3.6[V]				
	適合コネクタ	(BF4-IR2) BF4-IR2-16P-0.5SH				
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構造	外観,構造,仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する	図面と合致していること	○	○	
	表示	目視にて確認する		○	○	
電 気 的 性 能	信号伝送特性	差動入力200[mVp]入力で高速信号伝送を行う	0.05Gbps~6.25Gbpsで1Gbit Ethernet規定マスクを時間軸上に相似させたマスクにヒットなきこと	○	-	
		6.25Gbps PRBS7 差動 200[mVp]入力しアイパターンを測定する。	1Gbit Ethernet規定マスクを時間軸上に相似させたマスクにヒットなきこと	○	○	
	信号検出	EO-ACT=High,VDD=3.3[V]の状態での OE-SDn 端子電圧を測定する。(測定系は信号伝送と同様)	OE-SDn電圧-0.3~1.0[V]	○	○	
	ACT検出	VDD=3.3[V]の状態での EO-ACTn 端子電圧を測定する。(測定系は信号伝送と同様)	EO-ACTn電圧-0.3~1.0[V]	○	○	
	符号誤り率 (ビットエラーレート)	6.25Gbps PRBS7 差動 200[mVp] 入力時の符号誤りをBERTで測定する。	符号誤り率 1X10 ⁻¹² 以下	○	-	
	消費電力	VDD=3.3V で信号伝送動作時の電流をマルチメータで測定する。	160 [mW]以下	○	-	
	出力信号電圧	6.25Gbps PRBS7 差動 200[mVp]入力し、信号伝送と同じ測定系で測定したときの電圧値を測定する。	差動電圧:160~330mVp	○	○	
光 学 的 性 能	LED発光(緑)	V=3.0~3.6Vの電圧を入力し、LEDの発光を確認する	緑色の発光が確認できること	○	○	
	LED発光(橙)	V=3.0~3.6Vの電圧を入力し、LEDの発光を確認する	橙色の発光が確認できること 	○	○	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
	1	DIS-K-00002327	TY.SATO	TS.YAMAZAKI	20200317	
備考	構造以外の項目は、適合コネクタに嵌合した状態で試験を行う			承認	YY.HIYAMA	20200210
				検図	TS.YAMAZAKI	20200210
				担当	TY.SATO	20200210
				製図	SK.AOYAMA	20200207
注	QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目	図番	SLC-391584-00-00			
	製品規格表		製品名	BF4-IR2IR2-01-1M		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL831-1272-0-00	 1/2	

性能					
項目	試験方法	規格	QT	AT	
機械的 性能	繰り返し動作	(BF4-IR2) IR2レセプタクルとの挿抜を1000回行う。	機能に影響する破損なきこと 6.25Gbps PRBS7信号伝送時に1G bit Ethernet規定マスクを時間軸上 に相似させたマスクにヒットなきこと (試験前後に確認)	○	-
	耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 3 方向各 2時間 試験する		○	-
	耐衝撃性	加速度 490m/s ² , 持続時間 11ms, 正弦半波 3軸両方向 各3回試験する		○	-
	ファイバ固定力	ファイバ軸方向に10mm/minの速度で破損するまでファイバを 引っ張る	10N以上	○	-
環境的 性能	温湿度試験	下記の条件で温湿度変動を加える。 初期測定23°C⇒-20°C(72h)⇒(約1.5h)⇒中間測定(23°C)⇒ (約1.2h)⇒+60°C、90%(72h)⇒試験後測定(23°C)	機能に影響する破損なきこと 6.25Gbps PRBS7信号伝送時に1G bit Ethernet規定マスクを時間軸上 に相似させたマスクにヒットなきこと (初期、中間、試験後に確認)	○	-
	温度サイクル	温度 -40°C⇔85°C、時間 10分 ⇔10 分を 無通電状態で100サイクル試験する	機能に影響する破損なきこと 6.25Gbps PRBS7信号伝送時に1G	○	-
	耐熱性	温度 85°C 無通電状態で1000時間放置する	bit Ethernet規定マスクを時間軸上 に相似させたマスクにヒットなきこと (試験前後に確認)	○	-
	耐寒性	温度 -40°C 無通電状態で1000時間放置する		○	-
	温湿度サイクル	-10~+65°C、24h/1サイクルの温湿度条件で 10サイクル無通電状態で試験を行う (下記条件) 		○	-
ESD耐性	BF4-IR2 HBMで2kV[V]印加する。		○	-	
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			函番 SLC-391584-00-00		
HRS	製品規格表		製品名 BF4-IR2IR2-01-1M		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード CL831-1272-0-00		2/2